

JDLA NET

「日民協通信」

本部事務局発行

御苑第9号(2006年1月25日発行) 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-14-4 AMビル2・3F
電話 03-5367-5430 FAX 03-5367-5431 メールアドレス info@jdla.jp ホームページ http://www.jdla.jp/

・新年会・ 旧交をあたため、決意新たに

2006年1月11日、日比谷・松本楼で日民協新年会が開かれ、名誉理事・代表理事・在京理事らが参加して充実した昼の時間を過ごしました。

久しぶりに会う顔ぶれも多く、肩をたたきあったり握手したり、出合いを懐かしむ雰囲気の中で、鳥生理事長が「旧交をあたため、日民協の活動に対する忌憚のないご意見ときびしい注文をいただきたい」と挨拶。海部事務局長から、この一年間の日民協活動の主な三つの柱(憲法・司法・『法と民主主義』)について、取り組みの経過とこれからの計画について説明、代表理事・小田成光弁護士の音頭でワインによる乾杯。食事をしながらの歓談となりました。(新年会の詳細な様子は、「法民」405号・64頁に掲載されています)ここでは、いくつかのご発言をご紹介します。



★危険な動きに抗して何かしなければという気持ちは強い。出来る行動を示してほしい。

★『法と民主主義』は実により編集をしている。執筆者の層も広がっている。増誌のためにみんなで知恵を出そう。

★ちっともおめでたくない年の初めだ。アメリカ追従をやめて、アジア共同体の確立力をつくすべき時だ。

★社会の右傾化はおどろくほど速い。いま日本の民主主義は危機に瀕している。司法改革が喧伝されたが、われわれがしっかりしないと大変なことになる。日民協への期待は大きい。

★日の丸・君が代、イラク裁判で国と東京都の行政のひどさを実感すると同時に、こちらの側も捨てたものではないとの感を強くしている。

★9条を守り、憲法を生活に生かす運動を発展させる上で、弁護士とその団体の役割はきわめて大きい。国民の期待にこたえるべくがんばろう。

この一年、お互いに元気に活動することを願い、日民協を大きくし、「法と民主主義」を内容豊かなものにして、協会の存在をアピールして行こうと誓い、楽しい集いの幕はおろされました。

(文責 副理事長・組織財政部 有村一巳)



■憲法委員会

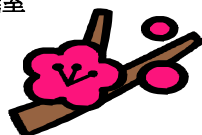
「国民投票法案」研究会

講師 只野雅人先生 (一橋大学教授)

日時・2月16日(木)午後5時30分～8時

場所・日本民主法律家協会3階会議室

・主催 日民協憲法委員会



■全国理事会・シンポジウム

「横浜事件再審判決」

報告者 環 直弥先生(横浜事件弁護団)

「国民投票法案」最新情報について

講師 井口秀作先生(大東文化大学法科大学院)

日時・2月22日(水)午後6時～8時

場所・東京・四谷 プラザエフ 4階シャトレ

年末カンパのご報告と御礼

恒例とはいえ、大変心苦しい思いで、全国の会員・読者に年2回のカンパ要請をさせてもらっております。可能な限り正常な財政を確立したいと願いつつ、諸般の事情から未だカンパに頼らざるを得ません。年始めに開催された代表理事ならびに在京理事合同新年会では、組織拡大と健全財政の確立のために一步踏み出す活動を確認しあい、決意を新たにいたしております。どうか、もうしばらくご支援いただきますようお願い申し上げます。多くの皆様からお寄せいただいたご厚志には、執行部一同大変感激しつつ、身を引き締めて、「改憲阻止」を中心に諸課題に邁進することで、応えていきたいと思っております。

1月25日現在、下記の方々からお寄せいただき、本部事務局員への年末一時金ならびに「法と民主主義」の印刷代金を始め、支払いの滞り解消に活用させていただきました。心から御礼申し上げます。感謝をこめて、ご芳名を掲載させていただきます。また、今回は、下記のような特別寄贈がありましたことをご報告させていただきます。ありがとうございます。

事務局長 海部幸造

相磯まつ江	秋山賢三	浅井 淳郎	安倍 晴彦	天宮 利幸	新垣 進	安藤 裕規
飯沼 洋子	石藏 貞夫	石口 俊一	石田 明義	石村 善治	伊藤 清	猪狩 久一
猪股 秀章	猪俣 貞夫	井之脇 寿一	茨木 茂	岩橋 宣隆	岩場 達夫	宇賀 神直
右崎 正博	牛山 積	白井 満	内山 新吾	内山 新吾	宇都宮 健児	浦野 広明
江藤 价泰	榎本 信行	大国 和江	大久保 賢一	大崎 晴由	大山 美智子	岡田 和義
小笠原基也	小川 政亮	奥津 年弘	織田 信夫	大崎 晴由	鬼追 明夫	小野寺 義象
小野寺信一	小野寺 照東	小野寺 利孝	尾林 芳匡	小田中 聰樹	門井 節夫	金子 修
川崎 浩二	川崎 英明	川又 昭	河村 武信	木瀬 慶子	北澤 貞男	北野 弘久
木村 壮	工藤 勇治	熊谷 悟郎	久米 弘子	小池 幸造	光前 幸一	国府 泰道
小島 肇	児玉 勇二	古波倉 正偉	小林 政秀	小林 武二	小林 亮淳	小林 赫子
小松正太郎	犀川 季久	坂井 興一	阪口 徳雄	桜井 和人	佐々木 良博	佐々木 光明
佐々木秀典	佐藤由紀子	佐藤 哲之	佐藤 秀夫	佐藤 昭夫	佐藤 欣哉	佐藤 みつみ
澤藤 統一郎	四位 直毅	志田 なや子	篠塚 力	柴田 茲行	島林 樹	清水 洋二
清水 善朗	下東 信三	庄司 慈明	新里 恵二	菅野 弘義	杉井 静子	杉尾 健太郎
杉山 茂雅	杉山 彬	鈴木 秀幸	鈴木 経夫	関 幸磨	多加 喜悦男	高崎 裕子
高崎 暢	高橋 宏子	高山 俊吉	竹内 一雄	竹澤 哲夫	武田 哲幸	環 直彌
塚原 英治	津田 玄児	鶴見 恒夫	利谷 信義	富永 由紀子	富森 和雄	鳥生 忠佑
土井大三郎	仲 哲生	中西 一裕	中西 裕人	中村 晃	中村 信	中本 源太郎
永井 栄俊	成合 一弘	二上 護	西村 欣郎	新国 信	野上 博行	橋本 紀徳
林 伸豪	林 秀信	原 章夫	馬場 茂夫	肘井 三郎	平井 隆之	平岡 建樹
廣谷 陸男	広渡 清吾	福井 栄一	藤村 栄一	松浦 憲二	古原 肇	前田 豊
前田 朗	牧野 良三	馬杉 水谷	松井 和友	宮本 博	森田 太三	三浦 和人
三浦 元	水谷 健一	山崎 和友	山崎 和友	山田 延廣	山田 幸彦	山本 政明
山内 満	山口 健一	吉川 滉	吉川 滉	吉本 幸彦	米倉 洋子	萬 實
横田 力	横道 三男	渡辺 洋三	渡辺 洋三	吉本 幸彦		
脇山 淑子	鷲野 忠雄					

〈敬称略・50音順〉

秋田中央法律(事)	大島 アイデック測量(株)	岡山合同法律(事)	大阪総合法律(事)
京都法律(事)	京都第一法律(事)	京橋共同法律(事)	呉合同法律(事)
五反田法律(事)	三多摩法律(事)	滋賀第一法律(事)	渋谷共同法律(事)
旬報法律(事)	城北法律(事)	仙台中央法律(事)	第一合同法律(事)
千葉第一法律(事)	東京法律(事)	東京北法律(事)	東京合同法律(事)
東京中央法律(事)	東京南部法律(事)	東京本郷合同法律(事)	都民中央法律(事)
名古屋南部法律(事)	奈良合同法律(事)	阪南合同法律(事)	日野市民法律(事)
福岡南法律(事)	北海道合同法律(事)	増田法律(事)	三重合同法律(事)
武蔵野法律(事)	代々木総合法律(事)	和歌山合同法律(事)	

〈50音順〉

特別寄付◆ 下記の弁護団ならびにご遺族からご厚志をいただきました。弁護団には感謝状を。石塚昇先生のご遺族には感謝状と「法と民主主義」No.405号にお手紙を掲載させていただきました。厚く御礼申し上げます。

- ・ 日本航空機長組合長時間乗務手当裁判弁護団からは、事件の勝利的和解のご報告とともに、多額のご寄贈をいただきました。
- ・ 故 石塚 昇司法書士のご遺族からは、石塚先生のご遺言に基づき、多額のご寄付を石塚先生のご子息である石塚権自氏から、本部事務局にお届けいただきました。